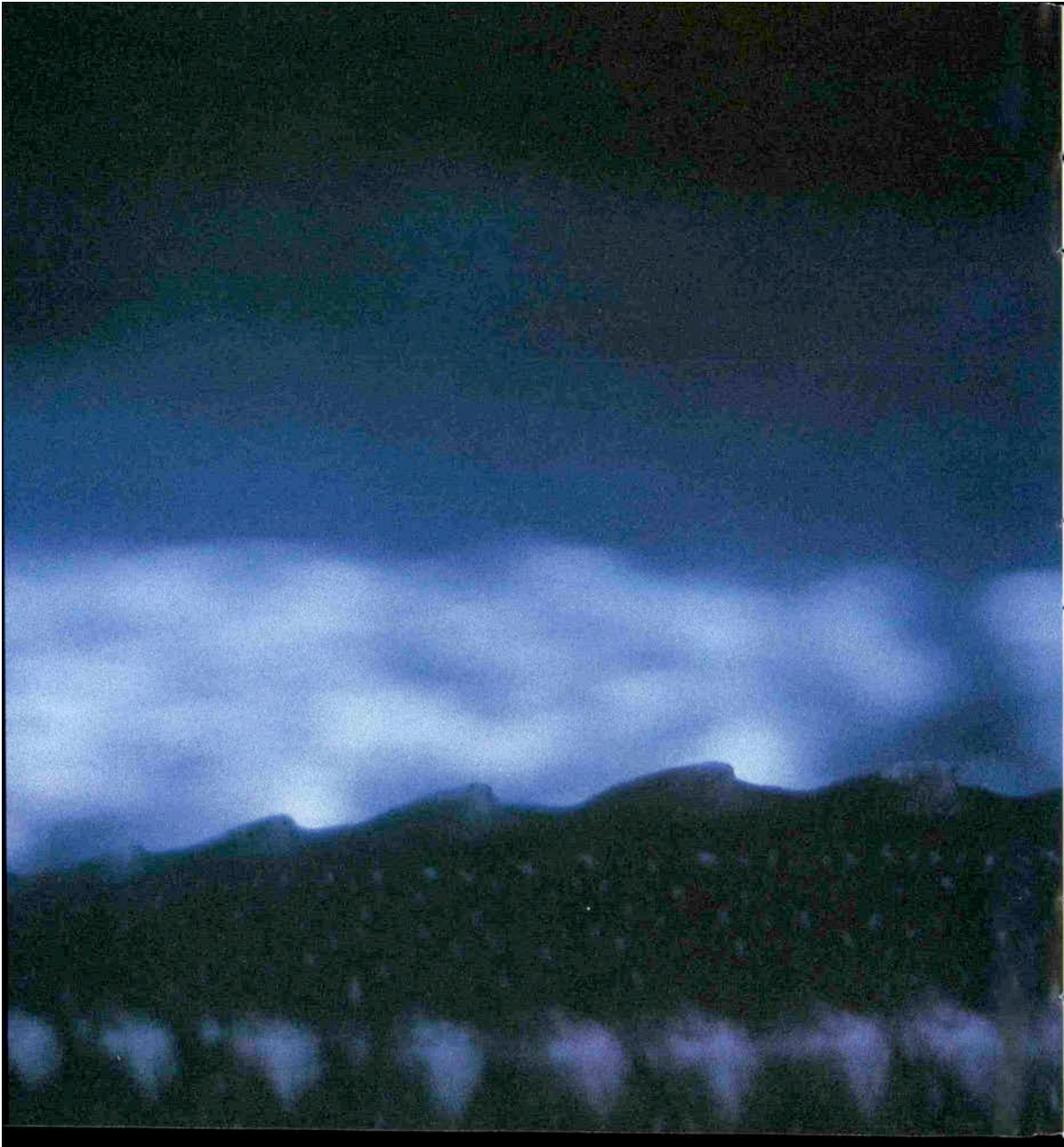


KOBE MONOGATARI

神戸の物語

緒方しげを NO・24





Merry
Christmas

'87年のフィナーレはパールの輝やきで……

 KINOSHITA
PEARL
CO., LTD.

Order Salon

株式会社 木下真珠

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)

TEL (078) 221-3170

10:00AM~6:00PM(無休) 12/27~1/3は休ませていただきます。

東京 / 赤坂・銀座・青山 大阪 / 心斎橋

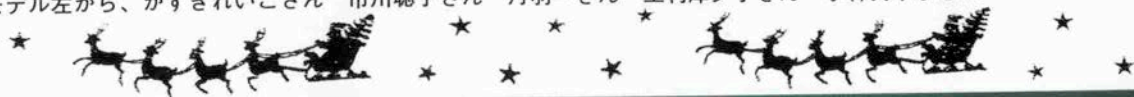
●リング、ネックレス、イヤリングなど、プレゼントにもぴったりの
お手頃な商品を豊富に取り揃えてお待ちしております。

Merry Christmas



リンクスを着ると、胸がワクワクしてきます。私の大好きな毛皮です。

モデル左から、かずきいこさん 市川聡子さん 丹羽一さん 玉利津夕子さん 小林真千子さん



創業30周年記念キャンペーン 100万円以上お買いあげの方に「北海道雪まつり」ご招待!!

おかげさまで
創業30周年



最高の品質と信用を誇る毛皮専門店
ニニ毛皮店

神戸市中央区御幸通 8-1-6 (国際会館1階)
TEL.(078) 221-3327 (代表) ☎651
FAX.(078) 221-3396 無休

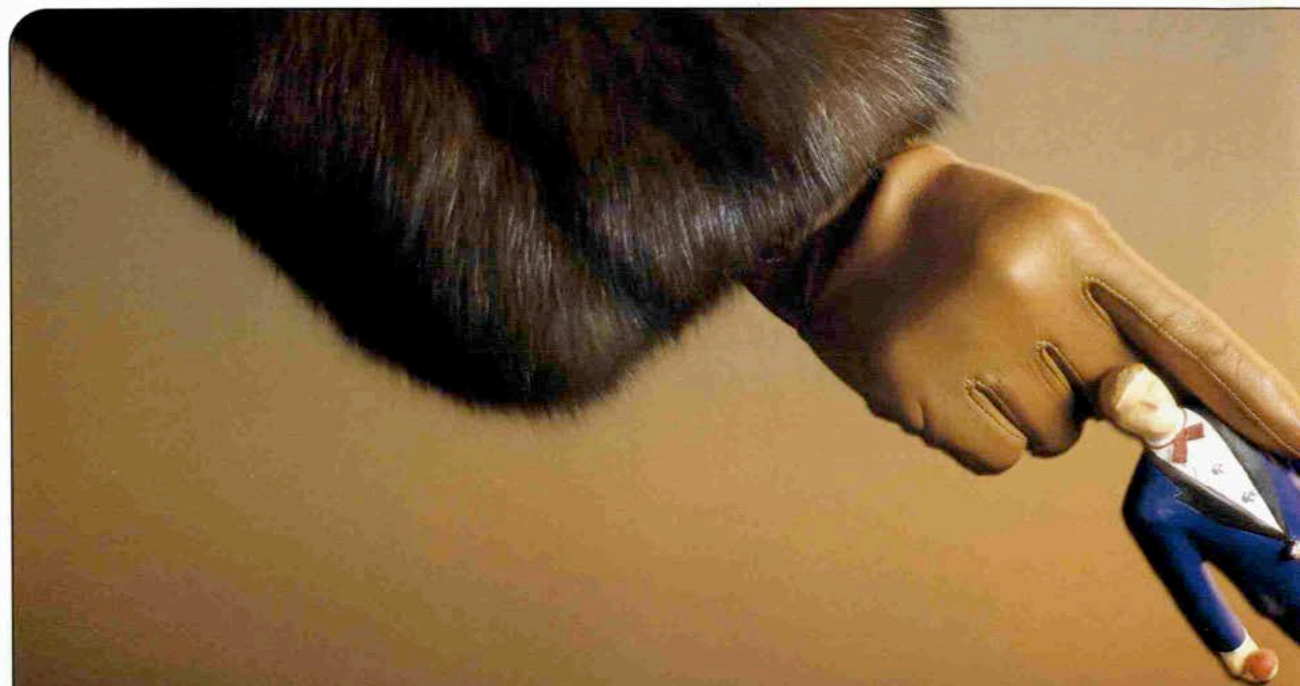
時の流れが、きれいです。

その人がいるだけで、シーンが光りはじめる人がいます。生きることをここから堪能すると、人は華にだってなれるのですね。日々冷えいく空気をむしろ楽しみながら、時の流れのなかに美しいぬくもりをもとめる人は、きっと出会うことでしょう。新しいドラマへの予感に満ちた品々に、また懐かしい喜びをたたえた出来事に。神戸で、元町で、そう大丸のどこかでかならず。



DAIMARU KOBE

電話(078)331-8121



新しいのに、懐かしい。

ANNIVERSARY
270th
創業270年

海に見える白いチャペルでウェディング

御結婚披露宴・

各種パーティー

好評予約受付中



海を見ながら、神戸ならではのファッションなブライダルは、恋人たちの夢。
白亜のチャペルに続くホールでのご披露宴や、劇場を利用した世界で初めての
シアターウェディングなど、感動的シーンの演出を心がけています。
カリヨンの音色に祝福されて、慶びもいよいよクライマックスに――。

ゴーフル ポートピア88
神戸 風月堂 港島

ミナトニ ゴーフル

〒650 神戸市中央区港島中町7-2-2 ☎(078)302-5555

本社 / 〒650 神戸市中央区元町通3丁目3番10号 ☎(078)321-5555

ゴーフル ポートピア88
ポートライナー中埠頭駅前
(ゴーフル白いチャペル前)





これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です

12月号目次 ● 1987・No. 319

表紙／小磯良平

セカンドカバ／中西勝

9 神戸っ子87／垣花洋子・加藤裕三

12 ある集い／音楽の家・兵庫木琴協会

15 コウベスナップ／小出樽重展

16 美の小箱／小磯良平 文・今井鎮雄

18 神戸の物語／カメラ・緒方しげ

29 わたしの意見／川瀬喜代子

31 随想／三浦真蔵・浅野晶子・津田昌美

35 地域文化論／小林郁雄

36 《特別インタビュー》津高和一／佐野達策

40 《特集》海外旅行を10倍楽しむ／渡川摂也・金井譲治・白村

百合子・森本隆・北川勲・三木重昭・石東直子・板東慧・

刈屋昭臣・森章

62 キャンペーン座談会／「街の活性化はウォーターフロントから」

植村孝一・黄田漢祥・篠田利正・永田耕一・三浦明定

70 経済ポケットジャーナル

72 話題のひろば／美術家野球大会・新井満出版記念パーティー

74 YWCA座談会／日本語教育を通して世界的な心の交流を

岡本道雄・原清・橋本和子・佐治菊代・柏原淳江

84 神戸のお嬢さん／安江美紀・元地弘子

86 ファッションウォッチング／「英国スタイルの花」諸泉陽子

88 もうさんのHYOGO WALK／高橋孟

104 ふたたびプロフェッサーの研究室／岡田淳

118 動物園飼育日記（26）／亀井一成

122 小山乃里子の華麗なる男のインタビュー最終回／新井満

126 スポーツエッセイ／ミッドナイトウォーク／蒲生敏宏

130 神戸を福祉の街に／橋本明

132 KOBÉ音楽夜話／浦山弘三

134 有馬歳時記

136 K・F・Sニュース

137 神戸の集いから

140 KOBÉ MODERN CULTURE

142 神戸百貨会だより

144 シネマ試写室／淀川長治

146 ぴつといん

148 ポケットジャーナル

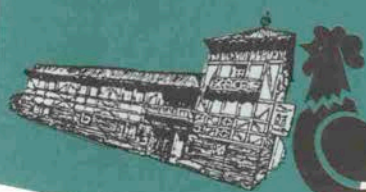
152 神戸発見12／岡田美代

156 連載小説／山西史子 カット／小西保文

180 KOBÉハイカラ文化史10／鈴木正幸・鈴木正幸

182 海船港／すぐそこに淡路島

カメラ／米田定蔵・池田年夫・松原卓也



エキゾチシズムが漂う
「ニュー・トーキョー」元町店が
今、甦る——
レトロにしてモダン
エキセントリックなロマンとの
出会いの始まり。

風見鶏がみた夢物語は
何だろう。

忘年会・新年会 予約承ります



ウエル
①Fビヤホール「WELL」
「樽から生まれたてのビールは、最高だぜ!」
「自慢のチムニーロースター料理も最高ネ!」
笑顔と会話がいっぱい。さあ、仲間が揃ったら
“カンバイ”しようぜ——
●営業時間(平日) 11:30a.m. ~ 2:00p.m.
4:00p.m. ~ 11:00p.m.

②F居酒屋「さがみ」
「とれたての魚って、
舌にとろけるみたいでおいしい。」
「熱燗片手に、旬の日本の味って、
やっぱりうまい。」
明石港直送の海の幸や、野や山の幸、
旬の串やきを民芸調の雰囲気の中で
存分に。(個室もご用意しています。)
●営業時間(平日) 4:00p.m. ~ 11:00p.m.

③Fパーティールーム
●洋室15~50名様用
和やかな各種ご宴会、ご会合
などお気軽にご利用くだ
さい。

ご相談・ご予約はお気軽に 078-391-4511

神戸元町「1-1-1」-

TEL 078(391)4511(大代)



感性のステージファッションパーク。

新宿・高野

BONFUKAYA

ゲルラン

ココ山岡

VICKY

LEE SOPHY

ELLE

ブライダルサロン・ループル

THE CONCEPT

ダイアナ

サイズショップ・ダイアナ

OFU

CLAUDE LEMA

ZAZIE

三愛

FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザ センタープラザ3F

営業時間 — am11:00 — pm8:00
PHONE — 078/3321698

イブ…
思いがけない彼。
おもいがけない
プレゼント。



ジャケット

¥49,000

タイ、カマベルト

¥15,800

ウイングカラーシャツ

¥9,800



タキシード

¥79,000

タイ、カマベルト

¥21,000

ウイングカラーシャツ

¥8,800



MAC
SINCE 1895 KOBE

本部/中央区三宮町1丁目6-22(ニューセンター7F) (078) 392-1651

三宮本店/三宮センター街

(078) 391-0895

プレザージュ/トアロード

(078) 391-0896

ドルチェマック/三宮センター街

(078) 332-0141

京都店/藤井大丸2F

(075) 211-0857

姫路店/FESTA 2, 3F

(0792) 89-4738

宝塚店/宝塚南口サンビオラ3F (0797) 71-4830

☆私の意見

コーヒー文化で

豊かな生活を

川瀬喜代子

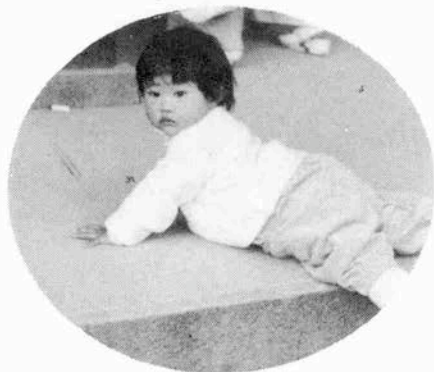
〈にしむら珈琲代表取締役
全日本グルメコーヒー協会初代会長〉



去る十月八日、全日本グルメコーヒー協会 (Japan Specialty Coffee Association) が全国より選ばれた本
当に珈琲を愛する業者八十名が参加して、この神戸の地
で盛大な発会式が行われました。その昔、欧州で初めて
コーヒーハウスが誕生した時、そこには多くの芸術家、
知識人、あらゆる分野の人々が集まり、コーヒーの香り
と豊かな空間の中で、様々なコミュニケーションが持たれ、文
化の華が咲いたということです。「こだわりの時代」と
いわれる現代において我々も原点に戻り、インスタント
や缶コーヒーでは出せぬ本物の味を、心地よい雰囲気の中
でお客様に提供し、豊かなコミュニケーションと、文
化としてのコーヒーを楽しんで頂きたいという目的でこ
の協会が設立されました。既にこの種の会は欧米に設立
され活動していると聞いております。そして、あちらで
はグルメという言葉は、日本で言われる単に美食家でな
く、選り抜かれたいい材料を、その持味を心こめて、上
手にひき出し、素晴らしい雰囲気を提供する事と聞いて
おります。私事ですが、こがましいですが、「にしむら珈
琲店」では十三年前よりこの心で、日本で唯一の会員制珈
琲店を開店し、この店がコーヒー文化の象徴と自負して
おります。様々な文化が神戸から発祥しており、コーヒ
ーも勝海舟が初めて神戸にアメリカより持ち帰り紹介さ
れています。そして十月一日にはUCC上島会長の夢で
あった世界で唯一のコーヒー博物館が神戸の地に誕生致
しました。この業界に携わる我々として、又神戸っ子と
して、とても誇り高く思っております。

この会も今後多くの企画が立てられており、来年二月
にはウイーンの「コーヒーハウス経営者協会」より招待
を頂き、私も会長として「People from now on, will
drink coffee to relax with and to enjoy the warm
feeling that it gives, not just to satisfy, their
thirst」この言葉で如何に日本人がコーヒーを愛し大切
にお客様に提供しているかを伝えてきたいと思ってお
ります。そして私はコーヒーに夢とロマンを求め続けたい
と考えております。

こんにちは赤ちゃん



槌橋沙良ちゃん／東灘区住吉町
「初もうでにきたのにころんじやった」

完全看護★冷暖房完備★病院前公共駐車場有

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大柁町1番18号

芦屋保健所東隣

☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

パーティーの日の
装いに——



Dress by Elle



美容室 **エリザベス**

本店 / 神戸市中央区三宮町2丁目6-4(三上ビル)

TEL (078) 331-8894・4917

お貸衣裳 花嫁衣裳サロン

東京・遠藤波津子直流 関西唯一人者 畑尾美久子の店

一本店と同じ(三上ビル) 神戸市中央区三宮町2丁目6-4

TEL (078) 331-3258

須磨の

歴史と文学

「上野山福祥寺」「須磨寺」

「歴史と文学」

出版によせて

三浦 真蔵

〈大木山須磨寺塔頭
正覚院副住職〉



大木山須磨寺は真言宗十八

本山の一つで、正式名称を上野山福祥寺と云う。真言宗須磨寺派の大木山である。当寺の開創は平安初期の光孝帝の仁和二年(八八六)で、今日に至るまで約千百年間、寺運はおおむね興廃常なく、運命の興亡をしばしば蒙った。かつて七堂十二坊が建ち並んだ伽藍も幕末から明治初期にかけて荒廃をきわめたが、中期以降次々と堂宇を再建、新築或は境内を整備し、次第に寺観を旧に復しつつ今日に至った。ともあれ、当山は寺運の盛衰にかかわらず、古くから平敦盛公の菩提寺として、又風光と史跡の須磨を代表する名刹として、「須磨寺」の通称で全国的に知られてきた。けれども、省みてこの寺の歴史的な展望が概観出来る書物が今のところ見当たらない。然し幸な事に、寺には「当山歴代」と称する、代々の住職が、後世のために書き継いできた古記録

があり、県の指定重要文化財になっている。又、いくつかの国・県の重要文化財もある。

これらは当山及び近隣の歩みを知る上で、貴重な史料であり、特に「当山歴代」は寺史の外、西摂、東播の記事も多く、神戸の中世を知る為の重要な文献史料である。その他いくつかの史料が「福祥寺文書」として残っているが、「須磨寺」の歴史は率直に云って余り明らかでない。数度の災害によってその貴重な宝物や記録類を失ったからだ。

そこで視座を変えて、「文学に現れたわが須磨寺の研究」に視点を合わせ、寺の青史よりむしろ神史的な、多くの人にとって余り「オモシロクナイ」史料よりは、我国の古典を通し、その時々須磨(寺)を垣間見る方が、ずっと「オモシロイ」。幸に「須磨寺」は日本の代表的古典「源氏物語」・「平家物語」・その他の文学作品との関係がある。この古典との

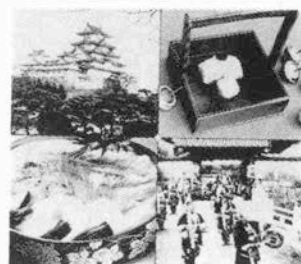
かわり合いの中で、史料の欠落した部分を補うことが出来る。それ自体、アルカイックな須磨を追求するロマンにも通ずる。

「須磨寺」は古来たくさん文人墨客が訪れている。これらは今二十数基の句碑・歌碑・文学碑として山内に点在し、文学散歩の人々を招いている。今後この傾向はますます増える。こう云った中で、私は時間の許す限り、「山内案内」に務め、史料等の整理を行った。

この度、諸先生方に御縁を得て、それぞれの御専門に関するお話を伺い、今まで知らなかったことの余りにも多いのに、ただただ恐れ入ると同時に、これまでの案内を恥かしく思った。初心にかえって、いっそ先生方に御執筆頂けたら……。

かくて、ここに二十四編からなる格調高く、思入れの深い作品、現代版「当山歴代」？即ち「上野山福祥寺」「須磨寺」——歴史と文学——が完成した。この本を手にとると、歴史のかたは、はるか遠くへ過ぎ去って行ったそれぞれの時代の須磨の面影が彷彿と浮んで来る。

須磨(寺)、やさしい響を持つこの地での、人間の様々な想いや生き方が伝わって来る。須磨寺を再認識して、好きになられると思う。



ひょうごの ふるさと 郷土料理

浅野 晶子

△神戸女子短期大学教授▽



十一月一日、見頃にはすこし早い、紅葉のすすむ但馬路を播但線の車窓から眺めながら、この線にもよく乗ったものだと思いを新たにしたい。

三年前から「兵庫県郷土料理」の調査研究にかかり、ようやく本にまとめ近く刊行の運びとなつてはっとしている所である。研究室の仲間とともにこの仕事にかかつて、あらためて兵庫県の地域の広さ、奥深さ、多彩な顔に日本の縮図といわれる意味が納得できた。

淡路島で菜の花が咲き揃う頃、但馬では数メートル積もった雪の上でスキーを楽しむ人の姿も見られる。魚も瀬戸内と日本海では種類も味も異なるのである。

さて今、何故郷土料理が見

直され、掘り起こされているのだろうか。一つには生産から消費までの距離が時間的にも空間的にも、あまりにも拡

がり過ぎてきたことへの不安がある。また大量生産による味の画一化へのアレルギーから、本もの志向、手作り志向へと消費者のニーズが向けられてきている。一方、年々過疎化する地域の活性化の手段の一つとして「ふるさと特産品」育成運動が各地で盛り上ってきたこともあろう。

しかし、既に郷土料理を知っている人が高齢化し、話には聞いているが、見たこともない、食べたこともないというものもかなりある。郷土料理には行事にまつわるものも多い。手近な材料で作られた料理を共食することによって

共感をわかち合い、ハレの日ケの日がはつきりしていた暮らしの中の彩りでもあったのであろう。また保存食が多いのは、日常食は殆んど買うということのなかった自給自足の暮らしの中で、沢山採れた時に加工しておいて、年間を通して家族の健康がまわれるような工夫が見られる。がこれらも、流通機構も整備され、冷蔵庫も普及し、人びとの嗜好も変ってきた現在、現在風にアレンジすることも必要であらう。伝統は守ってゆきたい、そして新しくつくってゆきたいものである。

最後に各地の郷土料理を断と偏見でいくつか挙げてみたい。淡路―ちよぼ汁、小あじのほほかぶり、西播磨―さばずし、パチ汁、いとこ煮、東播磨―たこめし、あなご丼、こけらなます、但馬―いかめし、けんちゃん、やたら、丹波―黒豆、栗、山の芋料理、さて神戸―いかなごの釘煮：残念ながら後が続かない。

■「兵庫県の郷土料理」浅野晶子著
同文書院刊 3200円



△画家▽

絵の中の 神戸の女性達

津田昌美



(上) 神戸っ娘 (下) そして

今回の展覧会で、私の絵のモデルになって下さった神戸の女性について一言。

神戸の女性といっても、ここでは、今神戸に住んでいるお嬢さんも、ミセスも、他府県出身者も含むことにします。

私の周りには、いい女性がウジャウジャいるので、そこに目をつけて、まず絵のテーマを決める時に、神戸の女性を人物画に描くことにしました。私自身も神戸生まれの神戸育ちで、日頃、神戸の女性はいくつになっても、ある種の気取りと、いくらかの知性と、おおらかさと、センスの良さと、クールな根性と、大胆さと、何にも増して胸を張ってさっそうと街を歩くスタイルの良さを持っていると思っています。

そして、映画のヒロインのような気持ちで毎日を過ごすのです。いつも熱い何かを胸に抱きながら、死ぬまでガンバル気です。

三点の絵のモデルになってくれたアキちゃんは、彼女がお母さんのベッドでオッパイにしがみついていた頃からの知り合いで、B型らしくわが道を行く女性です。彼女の中学から短大までの多感な年頃に、まるで姉妹のように一緒に過ごした思い出があり、ボーギャンのタヒチの女を思わせるような肉体美にはかねがね惚れ込んでいたので、「アキちゃん頼みたいことがあるねんけど」というと、さすが神戸の女性の度胸と感の良さで、「ヌードかア」と一言で引き受けてくれました。そし

て、昨年二月、神戸では近年珍しい積雪の午後、ベッドカバーをストروبで焦がすほど熱中して、彼女も私も絵の制作に没頭しました。その脱ぎっぱりの良さはもちろん、パントもブラもとのまんま、ちょっと片隅に寄せることもしないおおらかさで、80号のキャンバスを置くと身動きすることもできない狭いアトリエで、私は彼女の迫力に圧倒され、ただただ感激するばかりでした。皆で十四人の方にポーズをとって頂きましたがある人は恋愛の真っ最中、ある人は別れた亭主の老後の心配までしており、音楽鑑賞やスポーツクラブやファッションや料理の話に花が咲いて、二時間休みなしのハードさも忘れるほどでした。総じて神戸の女性は、素敵で、優しく、がんばり屋で、特に、さわやかな雰囲気を感じられるのは、港町らしい特徴です。このような良い女性が育ったのは、神戸の男性がスカッとしていて粒揃いだからなのでしょう。この次には、ぜひ男性ばかりをモデルにしたいものです。

Restaurant Kitano Club CHRISTMAS PARTY

クリスマスディナー&ショー&ダンスの
豪華で楽しい夜をお過ごし下さい。

12月23日(水)・24日(木)・25日(金)
1987



アンデスからの音楽使者ロス・ブカソニコ(ペルー音楽大使)が
フォルクローレとラテン音楽のすべてをおとどけます。

料 金 ¥20,000 (料金 16,668
サービス 1,666
税 1,666)

〔フルコースディナー、フリードリンクス(食前酒、
ワイン、食後酒)、税・サービス料込〕

ショータイム

第1回目 PM 7:30

第2回目 PM 9:00

第3回目 PM 10:30

ディナーはPM 5:00よりお召し上がりになれます。

テーブルのご予約・お問い合わせは

☎ (078) 222-5123 内線31迄



レストラン 北野クラブ

神戸市中央区北野町1-5-7 ☎ 222-5123

拝啓カシミア美人殿

カシミアは、着こなしの鏡。



やわらかく、軽く、暖か。カシミアは、これからのシーズンに欠
かせない素材です。しかし、すばらしい長所には、より大きな短
所もつきものです。カシミアの場合、●シワになりやすい ●ス
リきれ、キズに弱い ●形くずれしやすい ●毛玉がしやすい
これらの短所は、いわば優雅にやさしく着てほしいという素材
自身のアピール。着る前のチェック、着た後の手入れは、カシ
ミア美人の常識です。



Since 1933

ニシジマ

本社/神戸市灘区記田町1丁目2-16
078-851-2440

■大阪支社/06-853-1332 ■つかしん店/06-420-3754 ■ロープ・ニシジマ/078-332-2440
■山手店/078-221-2440 ■宝塚店/0797-72-0810 ■リフォーム・フルフル/078-221-9110

兵庫・町並みゼミ出石 1987

―来年はあなたにもきてほしい―

小林郁雄（アーバン・プランナー／コー・プラン代表）

出石宣言 1987

兵庫県下を中心とする各地で歴史的環境の保存・再生・創造にとりこんでいる有志約250名が、1987年10月24・25日、兵庫県出石町に集い、第1回の「兵庫・町並みゼミ」を開いた。



各地の代表が集まってのシンポジウムも行なわれた（左）・今回のポスター

△活かせ町並み、創ろう景観▽

をテーマに、基調対談・各地からの報告・シンポジウム・全体会議をつうじ、このゼミに参加した者は、次の事項を確認した。

すなわち第1点として、町並みを保存し活用することは、歴史的な建物や家並みに関する課題以前に、そこを基盤として生活する人々の心の問題が重要である。誇りをもって、その心の集結をはかることが、何よりも大切である。

第2点は、今日ここに集まった人達のエネルギーを継続していくことである。私達は町並みの保存・再生・創造のための運動を、広く啓発し、独自の調査をすすめる、各機関への働きかけをしていくために、情報交換・交流の場をそだてていくことを確認した。

さらに、この出石の町並みにとって、すぐさま始めるべき具体的な事項として、

1、古い酒蔵は、出石の町並みの貴重なシンボルのひとつである。私達はこのシンボルがいつまでもいきいきと使われ続

けることを願い、出石の地酒（桑々鶴―ささづる）を積極的に飲むこと。

2、永楽館は、出石の町並みの活性化にとって、貴重な資源のひとつである。私達はこの回り舞台をもつ劇場を起点として新しい舞台芸術をつくり出し、新しい出石文化の拠点としていくこと。

以上2点を提案する。

深まりゆく秋の但馬路のなか、雨の静止堂に集い、城跡において出石そばを食べながら、数多くの出石の人々の心のこもった親切に感謝しつつ、宣言する。

1987年10月25日

第1回兵庫・町並みゼミ 出石

参加者一同

話は2年前の全国町並みゼミ龍野大会にさかのぼるわけだが、その時の「いずれ、兵庫県下の町並みゼミを」という願望がやっと実現した。町並みの宝庫といわれながら、イメージ希薄な兵庫の町並みを全国にアッピールし、町並み保存・再生・創造にとりくむ住民相互の交流を地域に根ざした形で蓄積していく。そんな「兵庫・町並みゼミ」を来年は伊丹でと考えている。興味ある人の事務局への参加を期待しています。

■事務局 078(842)2311

もう一つのコスモス

透明な抽象空間

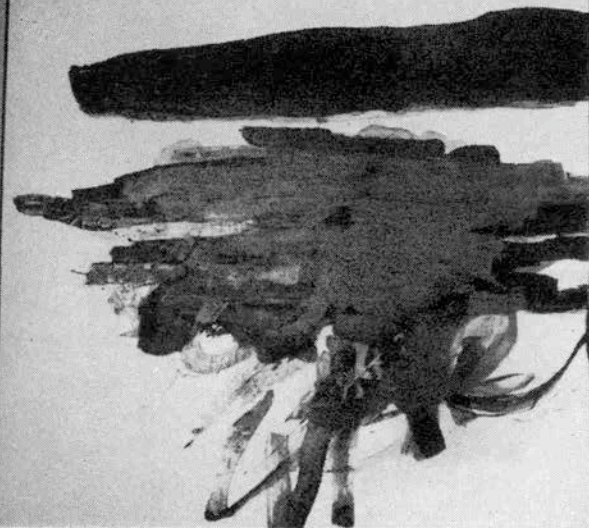
画業40年余の――

津高和一 画伯

を訪ねて――

佐野漣箕

――初冬というのに中庭の芝生はまだ緑が濃厚であった。それを踏みながら芝生に埋め込まれた白い庭石を伝って、別棟の応接間に入ると、白いカーパスに黒い線、緑の線、グレーの線等で描かれた絵が壁に掛けられ、絨氈の上にぎっしりとおかれていた。そこは、もはや津高和一画伯独自の抽象空間であった。それが庭前の芝生に点在する白い角石の世界と関連性があるのか、ないのか、解らないにしても、この透明な抽象空間は、びりつとした部屋の緊張感は何なのか、原点意識は、線の秘密は何なのだろうか。その一端でいい、聞いてみたい、引き出してみたいと思っていると「お待ちせしました」と悠然と画伯が現われた。ふさふさとした頭髮、盛り上った口ひげ、いずれも見事な銀髪であった。画家としか表現しようのない風ぼう、明治44年生まれというどっしりした年



輪、それは空高く緑濃き深い谷間からごろりと、それこそ悠然と現われた巨岩の逞ましき、そのものであった――

「この間、つかしんホールで展覧会をやってくれました。散らばっている絵を苦勞して年代順に集めてくれて感心しましたが、それをみた多くの人々から「変っていない」、「一貫している」といわれて嬉しかったですね。つまり造形思考が一貫性して変っていないという訳です」――その二本、三本の線だけの独自の抽象空間、内から出るポエジーの情感、そういった特質は何なのでしょうか――

「ある人が面白いことをいってくれました。京都では固体で大阪は粘着質の液体、西宮や神戸は気体だといふんです。その気体も霧散するたよりないものでなく、淡泊な自然な無理のない力強いもの、そんなものが私の絵にあるといふんです。そういうわけてみるとなる程、そういう見方もあるのかと感心しました。私自身はあまり風土性は意識していませんがね」

――その発想の拠点は何なのでしょうか――
「既成概念といえますか、既成の形から入らず、とらわらず、全部はずして内にあるものから入ったからでしょう。私は下塗りはしません。白カンパスに直接描きます。そして眼にみえないものを

眼にみえるようなものにする、いいかえますと意識と無意識の合致、それは無心ですね。私は詩を書いていた。しかも短詩型です。無駄なもの、不必要なものをすべて取り去ってしまふ、つまり寡黙ですね、全部をしゃべらず取り去る魅力、語ることの少ない寡黙な世界、それを描いているといふてよいでしょうか」

――寡黙だがしかしその寡黙が裏返えせば多くを語り、音楽的、詩的な冗舌があるといえませんか――

「そう観てもらうと有難いし私の願いもそれなんです。単純な一本の線のようにだけでも、すべてを結果して固めている、それとの対話ですね。それぞれみる人によって与える、受け取るイメージ、ネーションは異なるでしょうが、何かをかき立て、刺激する、感じさせる、汲みとる、この対話がないといけません。絵は語りますからね。私はこの度画集を出しました。そのサブタイトルに「もう一つのコスモス」とつけました。私の絵を

みて感じた宇宙空間から、さらにもう一つの宇宙を発見して下さい、そう願っていますね」

――最初から現在のような絵をお描きでしたか――

「いや、出発はやはり具象でした。技術を習得するために大阪中之島の洋画研究所へ通いました。昭和14年頃です。そして第一回の行動美術展に出品したの



(上) つかしんでの個展会場 (下) 津高画伯夫妻



つかしの個展には津高画伯の人柄を反映して、多士済々な顔ぶれがかけつめた。

ましたね」

——しかし墨書のような日本的な東洋的ともいえる緊張感、それを持続することは大変だと思われるが――

「ある外国の方から『あなたは禅をやったのか』と聞かれました。私の描く線に『かすれ』『にじみ』などがありますから禅をもち出されたのでしょうか、無心、虚心ですね。これらが影をひそめますとマンネリ化します。絵は上手になるかも知れませんが人をはっ!!とさせる絵は描けません。無技巧の技巧とでもいうのでしょうか、それに絵と年輪は関連あっても年令とは関係ないと思っています。これでも頭丈にみえますが多くの病気持ちです。だましまして努力してきました」

——陶器を焼かれた時代がありましたか――

「石もやりました。粘土や石をいじくっていますと子供にかえれます。無心な自分にかえれます。この異質なものと対話、それを絵に役立ててやろうと思うと失敗しますね。自然な形で影響受けているかも知れませんが、私は無心になれるのが魅力でした」

——話をつきることがなかった。絵は寡黙だといわれながら、画伯の物腰やわかな画論は冗舌で情熱的でさえあった。棒のような太いものが一貫していた。ほんの少し扉をのぞいた程度かも知れないが、庭前の芝生の緑以上に若々しく、銀髪のようにすがすがしい感銘という空間の対話が続いてゆきました――

が昭和21年です。そして26年に「母子像」27年に「埋葬」を出品しました。この年に協会の会員になって昭和40年に協会退会という経過をたどる訳ですが、この「母子像」「埋葬」を境としてぐっと心象、抽象、いまの世界に傾斜してゆきました。もっとも、さきほど一貫性があるといわれましたが私自身はその時代、時代の「振幅」はあり



SAMOTO CLINIC

佐本
産科

ママといっしょに



ママ・松井美恵子さん
兄・良太くん(4才)
妹・悠ちゃん(2才)
「こんなに大きくなりました。
ときどきけんかもありますが
— 仲良し兄妹です。」

★佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-5
☎575-1024(病室☎576-9639)
市バス上沢4停南スグ

実験交流サロン

シアター・ポシェット 12月の公演

5日(土)} 14:00 舞踊フィルム上映
6日(日)} 舞踊公演 アスベスト館
「土方巽追想フィルム上映会」
舞踊:大野 一雄(有料)

19日(土) バイオリン演奏会 大塚マユミ

20日(日) 14:00 サロンコンサート 10周年記念
(有料)



★シアター利用のご案内

- 曜日、時間/土、日曜日(通常)AM10:00-PM8:00
- 費用/ホール設備の使用無料。光熱、空調、管理費のみ実費
- 付帯設備/グランドピアノ・エレクトーン・録音、音響機器、ミキサー、照明コントローラー・テーブルコーダー、マイク、映写機等
- お申し込み、お問い合わせ
そごう前センター街東南角、さんちか入口
〒650 神戸市中央区三宮町1丁目5-1 住友銀行ビル6F
佐本小児歯科 佐本進 ☎331-6302~3